

Year: 2022

Location: Japan

Program: 展示

男木島パビリオンの紙の家



「瀬戸内国際芸術祭 2022」において、アーティストの大岩オスカル氏とのコラボレーションによるプロジェクト。芸術祭終了後は次回の芸術祭までの期間、宿泊施設となる。敷地は瀬戸内海中部に位置する男木島の、海を見下ろす高台にあり、建物は柱と二重梁を紙管で構成している。天井は竹天井のような繊細な表現とするために、細い紙管を敷き詰めた紙管天井とした。

3枚の大きな引違い窓には、大岩オスカル氏により窓から見える実際の風景と重なる絵が描かれた。それぞれの窓に描かれた絵は、3枚が重なることで新たな絵が出現する仕掛けとなっている。